

# 服用指導のポイント

- 成分・分量：2錠中 メキタジン・6mg
- 効能：花粉、ハウスダスト（室内塵）などによる次のような鼻のアレルギー症状の緩和：  
くしゃみ、鼻水（鼻汁過多）、鼻づまり
- 用法・用量：成人（15歳以上）1回1錠、1日2回（朝・夕）に服用します。



## 服用指導上の注意点

### 用法・用量の厳守

◆用法用量「成人（15歳以上）1回1錠、1日2回（朝・夕）服用すること、15歳未満は服用しないこと」を厳守するようにご指導ください。

### 併用薬の制限

◆本剤を服用している間は次のいずれの医薬品も服用しないようにご指導ください。他のアレルギー用薬（皮膚疾患用薬、鼻炎用内服薬を含む）抗ヒスタミン剤を含有する内服薬（かぜ薬、鎮咳去痰薬、鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、催眠鎮静薬）

### 服用時の運転注意

◆本剤の服用により、眠気を催したり、眠くならなくても集中力や判断力が低下することがあるので、本剤使用中は乗物または機械類の運転操作は避けてください。

### 服用時の授乳制限

◆授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください。

### 飲酒の制限

◆本剤使用中にアルコールを摂取すると眠気等の副作用があらわれる可能性があるため、飲酒はさけていただくようご指導ください。

### 長期連用

◆本剤を漫然と長期に使用しますと副作用が現れる可能性がありますので長期に使用しないようご指導ください。

### その他

◆添付文書をよく読んでから服用いただくようご指導ください

## 服用上の注意点

◆服用後、次のような症状があらわれた場合は直ちに服用を中止し、医師又は薬剤師に相談するようご指導ください。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振、腹痛、胃部不快感、胃痛
精神神経系	頭痛、めまい、ふらふら感、倦怠感、興奮
その他	排尿困難、顔面のほてり、動悸、息苦しさ、味覚異常、月経異常、口内しびれ感、むくみ、のどの痛み、目のかすみ

◆まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診断を受けるようご指導ください。

症状の名称	症状
ショック（アナフィラキシー）	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）等があらわれる。
血小板減少	血液中の成分である血小板の数が減ることにより、鼻血、歯ぐきからの出血、青あざ等の出血症状があらわれる。

◆5～6日間使用しても症状がよくなる場合は他の疾患の可能性も考えられますので医師又は薬剤師へ相談するようご指導ください。

◆次の症状があらわれることがありますので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師にご相談ください。  
口のかわき、下痢、便秘、眠気

### 錠剤の取り出し方

図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出してお飲みください。



アレルギー性鼻炎用薬

# ストナリニ・ガード

## 適正使用のチェックシート

次のことを確認し、適切に指導してください。

次にひとつでも「はい」に該当する項目がある方には、本剤を服用させないでください。

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。）

Q1: 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある。

はい  いいえ

Q2: 排尿困難の症状がある。

はい  いいえ

Q3: 緑内障の診断を受けている。

はい  いいえ

Q4: 15歳未満の小児である。

はい  いいえ

上記にあてはまらない方

次に「はい」に該当する項目がある方には、適切にご指導ください。

Q1: 医師の治療を受けている。

はい  いいえ

Q2: 妊婦又は妊娠していると思われる。

はい  いいえ

Q3: 授乳中である。

はい  いいえ

Q4: 高齢者である。

はい  いいえ

Q5: 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある。

はい  いいえ

Q6: 次の医薬品を服用している。  
胃腸鎮痛鎮痙薬

はい  いいえ

ストナリニ・ガードを服用できます。

